

神奈川県三浦郡葉山町における 台湾リスによる生態系破壊状況

背景

現在、多様な外来種の人による意図的な導入と、人と物などの頻繁な移動に伴う非意図的な導入が行われている。そして多くの野生生物が本来の生息地外で、野生化し、定着した結果、生態系や人の生命・身体、農林水産業へ影響を及ぼすことが問題となっている。

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」が施行され、台湾リス (*Callosciurus erythraeus taiwanensis*) が特定外来生物種として指定された。

台湾リスは横浜市戸塚区から三浦市まで分布域が広がった。これらの地域では台湾リス特有の樹木の剥皮がみられ、生態系の破壊や自然災害の拡大が懸念されている。

目的

本研究では近年、台湾リスによる樹木の被害が広がっている神奈川県三浦郡葉山町をケーススタディとして台湾リスによる生態系破壊状況を調査する。

研究概要

- 葉山町役場に寄せられた住民からの被害報告に基づき、その被害報告がされた場所周辺での現地調査を行う。
- NPO 葉山まちづくり協会加入団体の葉山・山楽会によって作成された葉山の山歩きコース内で調査を行う。
- 被害が確認された場所をGPSを用いてプロットしていき、地図に落とす。



図1 タイワンリス (*Callosciurus erythraeus taiwanensis*)



図2 被害植生
ヤブツバキ (*Camellia japonica*)